

PHARMONY (ファーモニー)

— 患者さん・ご家族の声を聞き、相互理解を目指しながら、
共有価値創造に向けて取り組む活動 —

ダイアログ —患者さんとの相互理解促進に向けた、患者団体との対話—

中外製薬は「患者さん一人ひとりの健康と幸せを最優先に考える『患者中心』」を価値観の最上位に掲げています。
患者さんを「ともに課題解決を行うパートナー」として捉え、患者さんとの協働を通して一人ひとりが最適な治療を選択できる医療を目指しています。
患者さんとの相互理解を加速させるきっかけになったのは2020年から毎年開催している患者団体とCEO (最高経営責任者) による対話 (ダイアログ) でした。
そのダイアログを機に2022年に誕生したのが「PHARMONY (ファーモニー)」です。



ダイアログから生まれたPHARMONY

PHARMONYはPatients (患者) ×Pharma (製薬会社) ×Harmony (調和) を由来とする造語です。



PHARMONY

中外製薬が患者さん・ご家族の声を聞き、相互理解を目指しながら、共有価値創造に向けて取り組む活動の総称として用いています。

患者さんの声を全てのバリューチェーン (創薬研究、臨床試験、承認、販売・育薬) に

これまでも患者さんの声は臨床試験や販売後の育薬等において取り入れており、2023年には全てのバリューチェーン (創薬研究、臨床試験、承認、販売・育薬) における全社的な活動として定義しました。

創薬研究/開発研究

- 患者さん/ご家族の声を創薬研究に取り入れるスキームを構築
- 3つの創薬研究プロジェクト
- 2つの製剤投与デバイス (機器) 開発

臨床試験

- 同意説明文書 (治験)
- Thank you letter*²
- 補償関連文書
- 治験時の検査方法
- 投与部位の追加

承認・発売

- 患者さんアクセスに関する課題認識の共有
- 承認申請資料*³

販売・育薬*¹

- 製剤デバイス (機器)
- 患者さん用コンテンツ (資料・WEBサイト・アプリ開発等)
- 疾患啓発コンテンツ
- 疾患別アドバイザリー会議
- 同意説明文書 (製造販売後臨床試験*⁴)

*1 薬が厚生労働省の承認を受けて販売が開始された後、薬の効果や安全性をより高めるために研究と開発を継続していく過程

*2 参加した治験の結果を確認できるサイトの案内が記載された手紙

*3 患者さんの声を疾患課題に反映した資料にて承認申請予定

*4 薬の販売が開始された後、薬の効果や安全性について継続的に情報を得るために行う臨床試験

「患者さん一人ひとりが最適な治療を選択できる医療」を実現するため、
中外製薬は患者さんの気持ちに寄り添い、パートナーとして一緒に歩んでいきます。



RDD2024のすべてのパネルは
左の二次元コードからご覧いただけます。

作成年月：2024年2月